

風薫る5月が終わり、雨の季節6月を迎えます。読者の皆様が6月に感じる季節のことばは何でしょうか？

「JAPAN NOW 2012年11月号」の「気象とお天気の話」の中でご紹介させていただきましたが、日本気象協会では昨年、あなたが感じる「季節のことば」と題して広く季節のことばを募集しました。その結果、植物、動物、食べ物、行事、寒暖に関するつぶやきなど多数のことばをご応募いただき、その中から「季節のことば36選」を選定しました。「季節のことば36選」は、ひと月あたり3つのことばを選定したことにちなんだ呼び名ですが、じつは7月は3つに絞り切れず、4つのことばを選定し、全37個となりました。6月は、「あじさい・梅雨・蛍舞う」。7月は「蟬しぐれ・ひまわり・入道雲・夏休み」。（日本気象協会 小田 美穂）

冬	秋				夏			春				冬		気象学								
12月	11月	10月	9月		8月	7月	6月	5月	4月	3月	2月	1月	月									
除夜の鐘	冬将軍 クリスマス	時雨 七五三	木枯らし1号 冬支度	秋祭り 紅葉（もみじ）前線 お月見	虫の声 いわし雲	朝顔	流れ星	原爆忌（広島と長崎） 夏休み 入道雲	ひまわり	蟬しぐれ	梅雨 蛸舞う	あじさい	雛のぼり 卯の花	風薫る 春眠	花吹雪 入学式	おぼろ月	ひな祭り 春一番	バレンタインデー 節分	雪おろし	寒稽古	初詣	季節のことば36選

会員名簿

（敬称略）（個人会員名簿は公開していません）

特別顧問：丹羽 晟（元理事長、日本空港ビルデング顧問）、丸山 博（元国土交通審議官）、本保 芳明（初代観光庁長官）
 理事長：大島慎子（筑波学院大学学長）
 副理事長：岡村進（元小田急トラベル社長）、横山善太（元㈱JALUX特別顧問）、須田寛（東海旅客鉄道相談役）
 加納隆（元朝日新聞経済部記者）
 事務局長：杉行夫（理事）、事務局次長：堤るり（理事）
 支部長：片山文彦（新宿）、魚住隆彰（北陸）、麓理沙（立教）、長尾亜夫（九州）、須田寛（中部）、岩田弘三（神戸）、坂本眞一（北海道）、梅原利之（四国）、

【団体会員】（2013年05月31日現在）

AGC硝子建材エンジニアリング㈱、㈱朝日ネット、(有)青葉、㈱アドルックス、㈱アルビオン、荒井建設㈱、アンデス電気㈱、安藤建設㈱、イーエムティー㈱、池田煖房工業㈱、㈱伊勢丹、富山県射水市、㈱井六園ワールド、岩田地崎建設㈱、㈱えんれいしゃ、(財)NHKインターナショナル、NPO「江戸城再建を目指す会」、㈱大林組、隠岐の島町(島根県)、㈱奥村組、小田急電鉄㈱、㈱小田急トラベル、鹿島建設㈱、鹿島道路㈱東京支店、大阪国際空港ターミナル㈱、㈱大塚食品、環境テクニクス㈱、関西電力㈱、九城企業㈱、㈱九電工東京支店、九州電力㈱、九州旅客鉄道㈱、㈱熊谷組、(社)くらしのリサーチセンター、㈱グリーンキャブ、群馬県、京浜急行電鉄㈱、㈱耕人舎、佐川アドバンス㈱、㈱サマンサバザジャパンリミテッド、三協立山㈱、三普旅行社有限公司、四国電力㈱、四国旅客鉄道㈱、清水建設㈱、㈱JAL-DFS、㈱JALUX、㈱JTB、消音技研㈱、新菱冷熱工業㈱、㈱センインターナショナル、常磐興産ピーシー㈱、住友電設㈱、(有)西洋館センター、竹内印刷㈱、㈱銭高組、全日本空輸㈱、パーキングプロ㈱、セントラルリーシングシステム㈱、㈱ダイエーコンサルタンツ、第一交通産業㈱、第一資材㈱、㈱大気社、大興物産㈱東京支店、大成建設㈱、大成有楽不動産㈱、大成設備㈱大成ロテック㈱、大成ユーレック㈱、大鉄工業㈱北陸支店、大日産業㈱、㈱高商、高砂熱学工業㈱、㈱竹中工務店、㈱丹青社、中国電力㈱、中部電力㈱、TCTレーディング㈱、㈱哲建、電研工業㈱、東海旅客鉄道㈱、東急建設㈱、東京急行電鉄㈱、東京国立博物館、(財)東京観光財団、東京電力㈱、東光電気工事㈱、東芝エレベータ㈱、医療法人社団同友会、トヨーカッツソリューションズ㈱、戸田建設㈱、名古屋鉄道㈱、西日本鉄道㈱、西日本旅客鉄道㈱、㈱西原衛生工業所、西松建設㈱、日墨ホテル投資㈱、日本オース・エレベータ㈱、㈱日本海コンサルタント、日本空港ビルデング㈱、㈱日本航空インターナショナル、(財)日本交通文化協会、(社)日本添乗サービス協会、㈱日本プラント建設、専門学校日本ホテルスクール、㈱ニューテック、ネスレ日本㈱、箱根町(神奈川県)、箱根建設㈱、羽田旅客サービス㈱、東日本旅客鉄道㈱、㈱日立ビルシステム、㈱日立製作所、広島電鉄㈱、福岡空港ビルディング㈱、㈱パロクジャパンリミテッド、㈱フィールドサービス、富士機材㈱、藤長電気㈱、富士通㈱、ブラネットワークス㈱、北海道旅客鉄道㈱、北海道電力㈱、北陸電力㈱、北海道空港㈱、㈱ホテル小田急、㈱ホテルモロリタ、前田建設工業㈱、㈱ホテルマルックス、マイナミホールディングス㈱、㈱まるまんファイナル、三井住友建設㈱東京建築支店、三菱電機㈱、㈱山武ビルシステムカンパニー、有楽土地㈱、横浜貨物総合㈱、横浜ビル建材㈱、㈱ランゲージネット、菱重輸送機エンジニアリング㈱、りんかい日産建設㈱

特定非営利活動法人(NPO)

人と都市・観光の地球時代を、市民が支えます

JAPAN NOW
観光情報協会

〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-58-13

小田急代々木ビル3F

電 話 03(5304)9500

FAX 03(5304)5632

E-mail info@japannow.org

Home page http://www.japannow.org

発行人：大島慎子（JN協会理事長）

編集長：加納 隆（JN協会副理事長）

発行部数：3000部 主な配布先：会員、中央官庁、地方自治体、民間企業、マスコミなど

編集後記

JN協会特別顧問に、丹羽氏に加え丸山博、本保芳明両氏をお迎えできることが通常総会で承認された。故松尾彦彦前理事長の卓絶した指導力で頑張ってきたJN協会にとって、松尾氏亡き後の大きな朗報である。

この協会は、12年前にNPO法人として誕生して以来、全国各地で「観光立国フォーラム」の開催、東京で「観光立国セミナー」などの活動を展開してきたがいずれも丹羽元理事長、松尾前理事長の存在が大きく、ことに地方での行事は、主として両氏の人脈で観光関係者が集まってくれていたものだ。

JN協会には、民間の観光関連事業者、マスコミOBなどが参画しているが、資金面、人的なつながり、いずれをとっても役所のOBには及ばない。丸山氏は、国土交通省鉄道局長、次官同格の審議官を経てフィンランド大使も務められた。本保氏は、初代の観光庁長官を退かれたのち、大学で観光問題中心に教鞭をとっておられる。

ここへきて少し力が弱まってきた感があるJN協会だが、特別顧問のご指導で盛り返し、国是となっている観光立国推進に関して、役立って行きたい。(加納)

人と都市・観光の地球時代を、市民が支えます！

NPO法人

JAPAN NOW
観光情報協会

Non-Profit Organization JAPAN NOW TOURISM INFORMATION ASSOCIATION

東京都知事が認証した「都市・環境・観光NPO」が発信する隔月刊情報紙

第89号 発行日2013年05月31日

Contents

- JN協会通常総会、海事・観光フォーラム — 1
- 街道観光のすすめ、外国人2000万人を — 2
- 霞が関情報(アゼル大使)、鉄道と観光 — 3
- アメリカこぼれ話、パプの牢名主 — 4
- JN協会へご参加を！、COLUMN — 5
- 城下町と観光(福知山城)、NEWSPOT — 6
- 提言(新幹線開通控え)、観光立国セミナー — 7
- 気象と天気(季語36選)、編集後記 — 8

丹羽、丸山、本保の3氏を特別顧問に

JN協会が通常総会で予算案等を決定

JAPAN NOW観光情報協会（大島慎子・理事長）は24日、東京・麹町の「日本海事センター」で第12回通常総会を開き、2012年度の決算、13年度の事業計画、予算案を決めた。同時に、丹羽晟（JN協会元理事長）、丸山博（元国土交通審議官、前フィンランド大使）、本保芳明（初代観光庁長官）の3氏に特別顧問を委嘱することを決めた。大島理事長とこの日出席の丸山特別顧問が、挨拶に立った。

13年度の事業は、7月の海事・観光立国フォーラム（右欄参照）はじめ、秋に観光立国フォーラムin中部、来春には新潟・上越市でもフォーラムを共催する計画。また、東京で観光立国セミナーを毎月開催することを予定している。さらに、会員増強、情報紙の充実、ホームページの拡充等を進める。

総会の後、日本商工会議所観光委員長の須田寛氏（JN協会副理事長、中部支部長）が、参加者に無料で配布した自著の「街道観光」について、解説した（内容は2面に）。須田氏は、各地でのフォーラム開催の度に、ご自身の最新の著書を寄贈、参加者に無料で配布されている。改めて感謝申し上げる。

故白澤照雄氏に献杯

須田氏の講演のあと、懇親会に移り、冒頭、阿部和義理事が、白澤・前副理事長、事務局長が昨年末に逝去されたことを報告、同氏のJN協会に対する貢献を感謝し、冥福を祈って献杯の音頭をとった。

白澤さん、皆で頑張るので、ゆっくりお休みを！

「海事・観光立国フォーラムin青森」開催へ

公益財団法人日本海事センター（小幡政人会長）は、7月22日（月）青森市のホテル青森で、特別講演会「第14回海事・観光立国フォーラムin青森2013」を開く。青森港湾研究協会、JAPAN NOW観光情報協会との共催で、国土交通省、観光庁、青森県青森市が後援の予定。

フォーラムのテーマは「青森の物産と観光の将来に向けて」。午後2時30分開会、海事センターの小幡会長が挨拶の後、国交省鉄道局次長、前観光庁観光地域振興部長の田端 浩氏が「青森の物流と観光の発展に向けて」と題して40分の基調講演。コーヒープレークを挟んで、鳥谷部 眞実・青森港湾研究協会会長が「青森港のクルーズ客船誘致と青函航路の魅力」について、引き続き新井 良亮ルミネ社長（前JR東日本副社長）が「今後の東北における地域活性化」について、それぞれ40分講演する。

フォーラムは、午後5時終了の予定で、このあと講師はじめ関係者との懇親会が開かれる。会費無料。お問い合わせ、ご出席の申し込みは7月10日までに「JN協会事務局」（電話03-5304-9500）へ。

「三陸復興国立公園」を指定

環境省は5月24日、青森県八戸市から宮城県気仙沼市までの海岸線を「三陸復興国立公園」に指定した。リアス式海岸など、いくつかの自然公園を再編成する形で、大震災・津波で破壊された自然などの復興に力を注ぐ、としている。既存の「陸中海岸国立公園」を中心に、青森県にあるウミネコの繁殖地などを含む。

「街道観光」を推進へ

須田寛・J R 東海相談役

須田氏は、日本商工会議所の観光委員長を務めており日商と全国の首長会、日本観光協会が提携して、「街道観光」を推進していくことを、昨年申し合わせた。

名所・旧跡や神社仏閣を訪ねるような在来型の観光が魅力を失い、観光客も頭打ちになっているので、新しい観光のあり方が求められている。

それには三つの形がある。ヘルス、メディカルなどの「ニューツーリズム」、産業、街づくりなどの「テーマ別観光」そして「在来型観光の新展開」である。

「街道観光」は、テーマ別観光のジャンルに属しているが、これからの観光振興の主役的存在だと思う。人口減少時代に入った中で、地域振興を図るには、交流人口を増やす以外にない。昔から道、広場などは、もともと人々が集い交流する場だった。お伊勢参り、大山詣でなど古くから「道をたどる観光」はあるが、その古い器に新しい酒を盛ろうというというのが、私たちが提唱している「街道観光」である。

世界的にもそうだが、人々の交通手段である「街道」沿いには、その地の文化が集積している。これまでは、空路や鉄道で目的地に向かい、降りた地点周辺を観光するというスタイルが主流だった。しかし「街道観光」は点と点を繋ぐ道を歩いて、そこに住む人たちと同じ目線で見て、住民の方々をの交流をはかる。そのコミュニ

訪日外国人2000万人目指す

安倍内閣が成長戦略に盛り込む方向

アベノミックス3本の柱のうち、経済再生・成長戦略のなかに、観光推進策なかでも海外からの観光客を大きく増やす政策が盛り込まれる見通し。

外国人訪日客は、この4月には円安も追い風となって92万3千人と単月では史上最高だった。年間では、2012年度の871万人が最高。これを5年以内に年間2000万人に増やしたいとしている。エネルギー資源の高騰で貿易収支が赤字傾向にある中で、3兆円とも言われる観光収支の赤字縮小が、大きな課題になっている。

そのための具体的な方策としては、東南アジア諸国からの訪日客のビザ条件を緩和することを中心に検討されているが、十分ではないだろう。

J N T O（日本政府観光局）が発表した2011年の海外観光客数をみると日本を訪れた海外観光客は622万人。フランスへの観光客は7950万人で世界1位。アジアでも、中国は別格だが、シンガポール、タイなどが上位、韓国への980万人にも大きく水をあけられている。

政府は、東南アジアからの入国ビザを、韓国並みに緩和するとしているが、韓国との差を、しっかり分析し改善、かの国の先に行く方策を打ち出してもらいたいものだ。ただ、観光客の受け入れは、制度だけの改革ではムリで、英語を解する人の増加、外国人を差別することなく接遇する気持ちなど、多くの改善点がありそう。官民教一体となった観光振興策が、いまこそ求められる。

ケーションこそが、大切なのだ。また、点では見えなかった新しい観光資源の発見もあるだろうしウォーキングは健康にも良い。

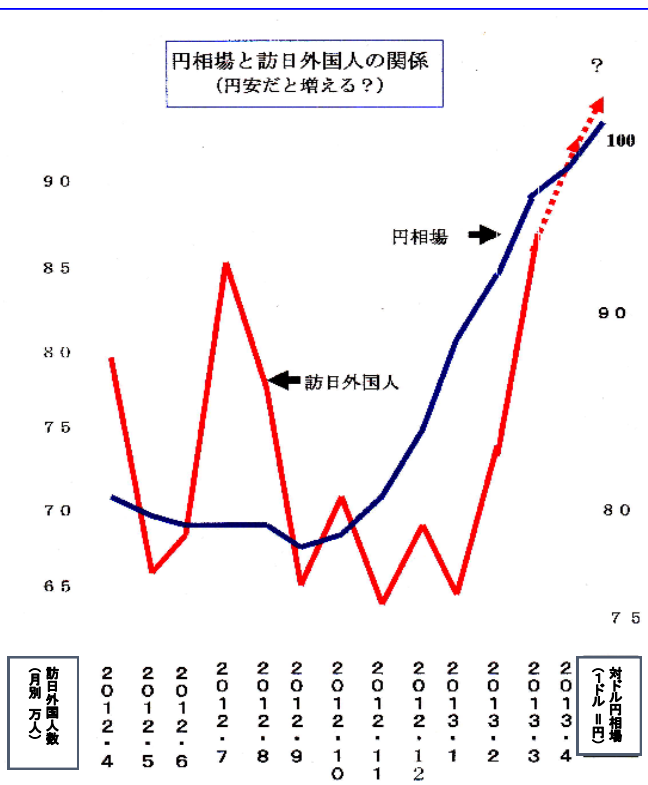
歴史の道探訪、産業発展の跡をたどること、古い街並みで建築様式の変化を探る、いろいろな着眼点があるだろう。

むろん課題もある。まだ、「街道観光」のビジネスモデルは確立していないし、その地の住民との交流の場も、十分には設定されていない。こうした点をクリアーにしていけないと「街道観光」は念仏だけにとどまりかねない。

ただ、戦国武将の出世街道を辿る、絹の道を歩くもよし、自分なりの観点で、自分なりの「街道観光」を組み立てる面白さもあるので、ぜひ自分モデルを考え、「街道観光」を楽しみ、その発展に参画していただきたい。

スカイツリー効果抜群

5月22日に開業1周年を迎えたスカイツリーは、638万人の入場者があり、当初見込みを約2割上回った。高さ634m（万人）を上回る集客を目指していた関係者は、ホクホク顔。ツリーを中心とする商業施設「東京ソラマチ」は5080万人で、東京ディズニー入場者の1.8倍とか。この日、12色のライトアップで祝った。効果は、東武線沿線にある「日光東照宮」にも及び来訪した観光客は、前年比10%以上増えたという。ただ、ツリーの地元商店街は振るわず、共存が課題。



円安が、訪日外国人観光客を呼ぶ

アベノミクス効果で円安となっている。円相場と外国人観光客数の上のようなグラフを作ってみたら、2～3か月のタイムラグはあるが、見事にシンクロしている。まだ円高だった昨年の夏場は、パッケージ訪日がみられたようで、今年の夏が楽しみではある。

N P Oから提案します

北陸新幹線金沢延伸は暫定開業だ！

J N 協会理事・寺前 秀一（加賀市長）

北陸新幹線金沢開業まで二年を切り、北陸沿線の報道は新幹線で一色です。石川県当局は、観光交流基盤の仕上げに当たると表現していますが、加賀市長としては大いに異論があり、金沢暫定開業と叫んでおります。大阪と結ばれてこそ交通施設として成果を発揮できるものであり、少なくとも石川県内は加賀温泉駅が開業しなければ総仕上げにはなりません。同時にローカル紙は小松空港の羽田便への影響を申し訳程度にしか報道していません。羽田乗継便の利用促進の要請といった政策は、アリバイ証明的なものでしかありません。大手旅行会社のトップが示唆するように、デスティネーションに即した加賀越前空港、加賀白山空港といった愛称を真剣に検討する必要があります。

私が運輸省在職中、本州四国連絡橋架橋に伴う転業、転職に携わったことがあります。開業直前まで撤退することができないことから交付金が支払われました。同様のことが、小松空港と金沢市内を結ぶ

観光立国セミナー

親日国トルコの姿

石本 寛治氏(日本トルコ民間交流協会会長)

日本トルコ民間交流協会が設立されて20年、石本会長がトルコについて熱弁を振るった。まず、トルコに関する20の質問を配布、同時に回答も配って、一つ一つについて説明した。一例を挙げると「トルコ語は、日本語とルーツが同じ」など。

このあと『トルコは日本をどう見ているか』に説明に移ったが、途中で時間切れ。惜しかった。ともかく、ロシアに虐められていたトルコは、日露戦争で日本が勝って以来の親日国。

石本氏は「トルコの経済は急速に発展しており、そう遠くない将来、G D Pで世界ベスト10に入るはず。2020年のオリンピックもトルコのイスタンブールになるだろう」と述べた。(第87回セミナー)

「築地」の今後のまちづくり

東京都中央区副区長 吉田不曇氏

「築地市場」は平成28年4月に豊洲地区へ移転する。築地のまちは、400店舗もある「場外市場」など周辺との関わりの中で賑わってきた。

築地市場移転後も、場外市場は残らざるをえなく、これまでの賑わいを途絶えさせることなく、継承していくため、小田原橋、海幸橋に2施設（93店舗分）をつくることとした。この施設は、食のプロだけではなく、一般客・観光客を広く迎え入れ、まち全体に賑わいを生み出すことができる施設とする。

築地市場を取り払った7万坪の跡地は、切り売りすることなく、一体的な活用で、文化性の高い、あるいは楽しい空間にして頂ければ有難い。(第88回セミナー)

JN協会主催の観光立国セミナーのこれまでの講演内容は別途、原文のまま印刷物とし、事務局に保存してあります。

特急バスにも言えるのですが、政策としての報道がなされていません。ドル箱路線が消滅すれば、県内の赤字バス路線への影響がでます。このためもあり加賀市では金沢駅と加賀温泉郷を結ぶ道路を、加賀温泉郷街道（現在は加賀産業開発道路）と愛称を付し、加賀温泉郷リムジンバス・レディーカガ号を走らせる計画があります。

能登空港は、県営空港でもあり、搭乗率向上運動が行われています。地元ローカル紙でも盛んに報道され、搭乗率向上に応援していますが、これに呼応する者はほとんど能登地域の人々ということになります。冷静に考えれば、観光客が東京にストローされているのです。加賀温泉郷から見ても、潜在的県内客が公的宣伝により首都圏に奪われているのです。能登空港の利用促進は、首都圏在住者の利用促進を図ってこそ、観光政策に資するものですが、搭乗率確保による違約金支払いを回避するという政策が主体となってしまう、しかもマスコミもそのことを指摘しませんから、県民も正しい理解ができないのです。

× × ×

各地の話題

★ 復興商店街を巡る旅

3・11大震災後、被災地支援を目指して開催された「東北観光博」は、今年3月終了。後を受けて、「旅・東北」がスタートしているが、その目玉の一つが『復興（仮設）商店街を巡る旅』。

福島、宮城、岩手の三県に点在する20数か所を訪れ、逆に元気をもらおう、という狙い。詳細の問い合わせは、東北観光推進機構（022-721-1291）。

★ 熱海「こがし祭り山車コンクール」の審査員募集

熱海で一番盛大な祭りの審査員を、熱海温泉の宿泊客から6組12名募集。7月15日午後6時30分から9時30分まで特設会場で山車の審査を行う。特等席で、山車パレードを見ることができる。応募締め切りは、6月30日。

申込・問合先／熱海市観光協会
info@ataminews.gr.jp 電話0557-85-2222

★ 白馬村にオーストラリア人が殺到

スキーで知られる長野県白馬村に、ちょっとした異変が起きている。北海道ニセコが有名になりすぎて、物価も高くなっているとかで、オーストラリアからのスキー客が白馬に向かったよう。同国では5月にスキーが楽しめるところが少なく、加えて円安が効いたらしい。5月初旬の連休の期間、オーストラリアから前年比3倍の客が押し寄せたという。

観光立国セミナーの予告

- ・第89回 6月21日（金）は、「クルーズトレイン『ななつ星』（日高淳一・九州旅客鉄道取締役旅行事業本部長）
- ・第90回 7月12日（金）、「イスラエルの企業がもてはされるわけ」（在日イスラエル大使館の綾尾健嗣氏）
- ・第91回 8月9日（金）須田アルナローラさん
- ・第92回 9月13日（金）金丸弘美さん

福知山盆地の広陵にある平山城

有馬氏が厳しい総検地を実施する

朽木氏が江戸時代藩主として2百年続く

JN協会参与 長宗我部友親

徳川幕府の体制となつて、遠江国横須賀から有馬豊氏が入つて、福知山藩の藩主となった。もともとこの地には塩見氏の居城があつたが、織田信長の命により、明智光秀の丹波攻めによって塩見氏が滅ぼされた。その際、塩見氏の居城であつた横山城を光秀が、大幅に修築して福知山城と改めたいきさつがある。

福知山城に入つた有馬氏は「有馬総検地」といわれる、厳しい検地をおこない、石高を二倍の十二万国にも大幅に増やしたといわれる。このために領民は苦しみ有馬氏は恨まれた。その後、有馬氏は筑後の久留米に移封され、福知山には丹波亀山から岡部長盛が入った。その後も、福知山藩の藩主はなかなか定まらず、一代限りの藩主が四氏も出ている。

藩主が落ち着いたのは、寛文九年(1669年)に常陸



国土浦から入った朽木植昌（くつき・たねまさ）氏で、十三代続いて、明治維新を迎えた。（左写真は、福知山の街なみ）

NEW SPOT

in japan 38

歌舞伎ギャラリー

新装なった東京・歌舞伎座タワー5階に「歌舞伎座ギャラリー」が4月24日オープンし大賑わいだ。入場は観劇と別の入り口で歌舞伎座正面に向かって左、昭和通り側にエレベーターがある。まだ舞台を見たことがない人たちにその良さや楽しさを知ってもらおうと、また常連のファンには演目などのディテールを肌で感じてもらうとうと、舞台の様子や、絢爛豪華な衣装、笛や太鼓、小道具など実際に使う本物を展示する。主催する松竹の大谷信義会長は「日本文化、歌舞伎の一端を味わってほしい」と話す。

第1回の企画展「歌舞伎の美 春」を6月末まで開催中。松竹に展示協力して歌舞伎座舞台、松竹衣裳、藤波小道具、宮本卯之助商店、東京演劇かつら、光峯床山、松竹大谷図書館が名を連ねる。入場料500円、未就学児は無料。開館10－18時で

朽木氏は入封後、藩主が次々と変わり、そのうえ災害などもあって窮乏していた藩政の立て直しに入った。朽木氏は、藩政を質素倹約で徹底し、その気風は一貫して福知山では続けられた。

もともと、福知山は「福智山」の字を使っていたが、享保十三年(1728年)に改められ、丹波の小京都として栄えた。六代の綱貞（つなさだ）は狩野派を招いて絵を鑑賞し、また石州流の茶道にも通じた。文化を広めた綱貞は地誌である「丹波志」の編纂も行った。

また、八代昌綱（まさつな）は前野良沢に蘭学を学び、「西洋銭譜」などを著し、蘭学のパトロンでもあった。

福知山城の本丸は、福地や盆地の中央の西南から長く突き出た広陵の先端にあり、平山城である。石垣は野面積で、明治四年（1871年）に廃城となったが、昭和六十一年（1986年）に天守閣が再建されている。朽木氏の菩提寺は法鷲寺（ほうじゅじ）である。



豪華絢爛の舞台衣装、小道具などで美しい企画展

入館は17時半まで。公演が無い日も会期中無休。次回以降、季節や上演演目などに合わせ7月13日から「夏」、9月12日に「秋」、12月12日から「冬」展を開く予定だ。

ギャラリーを出ると目の前に歌舞伎座の屋上庭園が広がり、併設して日本茶喫茶「寿月堂 銀座歌舞伎座店」「土産処 楽座」がある。「スタジオアリス歌舞伎写真館」では衣装、かつら、メイクで登場人物になりきり舞台背景の前で撮影できる(有料)。扮装は町娘や若侍などのほか公演ごとの衣装もあり、ここで着物をレンタルして観劇するのも楽しい。

(文・写真 林 莊祐)

東京 震が関発の最新情報 国土交通省・総務省・財務省

世界で一番早く石油開発したバクーとゾロアスター教の発祥の地が観光のスポットだ

ギョルセル・イスマイルザーデ

駐日アゼルバイジャン共和国大使



首都のバクー生まれ。1992年バクー国立大オリエントアル語学部アラビア語学科卒。93年外務省儀典部、96年筑波大日本語コース留学、98年上智大大学院外国語学研究科、2005年外務省アジア局、10年6月外務大臣補佐官。11年8月現職。42歳。

ーアゼルバイジャンは日本から遠いですが、どのくらいかかりますか？観光のスポットはどんなところですか？

直行便はまだありません。トルコのイスタンブールまで行きそこからバクーに入ります。カタールやドーハからでも行けます。約12時間掛かります。小さい国で面積は北海道とほぼ同じです。しかし、歴史のある国です。観光には首都のバクーがお勧めです。世界でも古くから石油開発が行われて、井戸は1848年に掘られました。米国のペンシルベニアとほぼ同じ時期です。1959年には海底油田が始まりました。それにゾロアスター教の誕生したところですから聖地でもあり、遺跡があります。火の国、炎の国です。日本はゾロアスター教がないので興味を引くと思います。

ー観光にはいつごろが良いのでしょうか？

日本と同じように四季があります。冬は寒くて風もあります。7、8月は大変に暑い。ベストシーズンは4～6月でしょうね。この頃は、カスピ海で泳げます。9、10月は果物のおいしい時期で、ザクロ、ブドウ、イチジクなどおいしいものが食べられます。カスピ海のチョウザメはお勧めですが、値段が高くなっています。地形的には北は山、南は海で温泉があります。泥の温泉で日本とちょっと違いますね。

ー日本からの観光客は何人ぐらいいて、これからどのように増やしていきますか？

アゼルバイジャンは石油が豊富なところなので石油の輸出でGDP（国内総生産）をまかなってきました。1人あたりのGDPは7500ドルで、旧ソ連から独立した15か国の中では一番豊です。GDPはこの10年間で4倍に増え、人口も91年の750万人が900万人になっています。石油などのエネルギーでGDPの80%まかなっていたのが、いまは50%になり観光、IT産業でカバーしています。観光には力を入れており、年間100万人の人が来ます。日本からも200人来ました。トルコ、グルジアを回ってくる人

たちですね。

ーアルメニア共和国とのナゴルノ・カラバフ自治州をめぐる紛争はどうなっていますか？

87年から始まった紛争でアゼルバイジャンは20%の土地をとり、100万人が追い出されました。こうした人はバクーなどに住んでいます。元の土地に帰りたい人たちです。94年に国連が停戦をしています。アゼルバイジャンの西の方の問題であり、この問題で観光地の治安は悪いということはありません。

(聞き手 経済ジャーナリスト 阿部 和義)

☆ ☆ ☆

「鉄道」と「観光」⑧

「鉄道と観光の歩み」— 3 — (昭和20年まで)

J N協会副理事長 須田 寛 (J R東海相談役)

昭和初期は深刻な不況に見舞われ、鉄道も乗客数が低迷した。そこで乗客誘致のため当時の鉄道は営業施策に注力した。このことは官業であった国鉄も例外ではなかった。

鉄道旅行をより身近なものとする施策がそれである。とくに観光旅行を盛んにするためのダイヤ整備である。東京ー伊豆、日光、名古屋ー伊勢、奈良、大阪ー伊勢等大都市圏から主な観光地を結ぶ観光快速列車が多数新設された。日光、伊勢方面への列車は快速列車でも食堂車を連結したほどである。三等寝台車の開発、急行列車の大増発もこの頃の所産である。又特急列車に一般公募で列車名をつけ親しまれる列車をめざした、「富士」「桜」「つばめ」等がその例である。

又国鉄が観光案内書を出版、国鉄編集による時刻表の改善充実(線ごとの観光地図、主な観光地の写真ページも)が始まった。商品面では北海道・九州遊覧券、伊勢・橿原巡拝周遊券等各種観光きっぷの発売、さらに海の家、山の家開設などもあった。因みに当時流行した「ハイキング」という言葉を導入したのも当時の国鉄の乗客(観光客)誘致策からだった。

一方民鉄でも大都市圏への人口集中もあって東京大阪圏の大手私鉄を中心に都市からの観光客誘致に努めた。各地の観光路線(ケーブルカーを含む)を新設増強した。なかには伊勢、日光等への長距離路線の完成もあった。企画きっぷ発売、さらに沿線の観光地(日光、箱根、琵琶湖等)を自ら開発する等、国鉄にくらべより幅の広い施策を展開した。ダイヤ、商品面でも国鉄との間に、又民鉄相互間で激しい競争も繰広げた。日光、伊勢、京都、奈良方面への国鉄とのスピード競争、流線型の新型車両導入等が観光客の話題を呼んだ。

このような動きは昭和10年代初めまで続いて、鉄道による観光は戦前最盛期を迎えた。12年の日中事変勃発以後日本は急速に戦時体制下に入り、観光は抑制され特に戦争の拡大と共に、国際観光は中止同然となり鉄道省の国際観光局も廃止、様々な観光施策も相次いで中止され、観光不在の時代を迎える。

アメリカこぼれ話 ― 25

「アメリカに併合された共和国―テキサスとハワイ」

J N協会理事 北村 嵩（松陰大学教授）

現在のアメリカ領土は、独立当時の東海岸沿いの領土から始まり、フランスのナポレオンより購入したルイジアナや、スペインから購入したフロリダ、ロシアより購入したアラスカ、戦争の結果イギリスから割譲を受けたオレゴンなど中北部やメキシコ戦争後に割譲されたカリフォルニアなどの他、共和国を併合して州になったテキサスやハワイなどで構成されている。

テキサスはもともとスペイン領であったが、1821年にメキシコが独立した時にメキシコ領になった。しかしメキシコの中央から遠い辺境のテキサスに住むメキシコ人は少なく、アメリカからはスティーブン・オースティンの仲介で約750世帯の入植者が住み始めていた。1834年にメキシコで政変を起こり、サンタ・アナが独裁者になったのを機に、アメリカ人たちがメキシコからの独立を目指して反乱を起こした。サン・アントニオ地域を守護していたトラヴィス大佐や、西部開拓の伝説的政治家デヴィー・クロケット、両刃ナイフの発明者ジム・ボーイなど187人がアラモの教会に立て籠もった。独裁政権を樹立したばかりのサンタ・アナが自らメキシコ軍を率いてアラモの砦を包囲し、13日間の激闘の末、全滅させた。この結果に反発したサム・ヒューストン率いる反乱軍が反撃してメキシコ軍に大勝し、サンタ・アナを捕虜にして独立を宣言し「テキサス共和国」別名ローン・スター・リパブリックが成立した。大統領に選ばれたヒューストンは合衆国への併合を要請したが、奴隷制度をめぐる南北の対立でなかなか承認されず、正式にアメリカ合衆国に併合されテキサス州になったのは、9年後の1845年であった。

一方、ハワイは1778年にイギリス人ジェームス・クックによって初めて西欧人に発見されたが、当時約30万人のネイティブ・ハワイアンが住んでおり、3人の王に分割統治されていた。その後、カメハメハ1世が白人から購入した武器を利用して領土を広げ、1795年に王国の建国を宣言し、1810年にはハワイ全島を統一した。カメハメハは政権維持のため積極的に白人を利用し、キリスト教に改宗したため、ハワイに住む白人は着実に増加し、王朝の政権に大きな影響を持つことになった。特に1850年に外国人の土地所有が認められて以来、大規模サトウキビ農場を経営して莫大な利益を手にし、経済力、政治力の拡大をもくろむ白人指導者は王に圧力をかけ王権を制限させた。1893年リリウオカラニ女王が白人の権限を弱める憲法修正を行うと、サトウキビ業者らがクーデターを起こし、リリウオカラニを幽閉して暫定政権を樹立した。翌年「ハワイ共和国」の建国が宣言されドールが大統領になり、リリウオカラニは廃位された。すぐに合衆国に併合を望む声も多かったが、時のアメリカ合衆国大統領クリーブランドは、アメリカ軍が不正に関与したとして併合を拒否した。

その後、1898年に後任大統領のマッキンレーがハワイの米国への編入を宣言して準州となり、1959年になってアメリカ50番目の州としてハワイ州が成立した。

パブの牢名主

小田急電鉄㈱ 顧問 利光國夫

日本中がバブルに沸いていた頃、小田急グループもいささか調子に乗ってハワイのホテルを買収したことは以前本欄に書いたが、前後してロンドン事務所なるものを設置してヨーロッパでも投資物件を探そうということになった。電鉄から所長を派遣し現地の英国人を事務員に採用して発足したのだが、私は国内の事業の足元を固める方が先だと思っていたのでこのプロジェクトには批判的だった。

数年後バブルが崩壊して事務所も撤収することとなったが、皮肉にもそのとき当該事務所は私の担当範囲のひとつになっており、自ら始末をつけなければならない立場になった。つらつら考えるに担当役員として現地を一度も訪れないで撤収するというのでは現地で働いている社員にいささか気の毒でもあり、種々検討の挙句ロンドンに出張することとした。

ロンドンに到着後撤収の段取りも整い、気掛かりだった英国人事務員も円満退社に同意してくれて出張目的は達成したのだが、所長がせっかくの機会だから郊外の純英国風パブを案内すると言う。それでは行ってみようとなったが、あいにく時期が悪かった。つい数日前が対日戦勝五十周年記念日で、バッキンガム宮殿に通じる道路の両側に戦勝記念パレードを観るためのスタンドがまだそのまま残っておりエリザベス女王がスピーチで「悪の勢力を打ち倒した」と述べて、近年で対日感情が最悪なのだという。

案の定パブに入ってみると壁際の腰掛に並んでいる人相の悪い男達が我々を睨んで何やら囁き合っている。これはちょっとヤバイぞと思いつつ辺りを見回すと、部屋の真ん中のテーブルに刺青だらけの腕を丸出しにした見るからに凶悪な顔の年齢不詳の男が、煙草の吸殻で溢れかえった皿を前に陣取っている。どうもこいつがボスらしいと思った私は平然（内心は恐々）と男に近付いてマイルドセブンの箱を突き出し「日本の一番旨い煙草だ、取れよ」と言うと、男はじろりと私を見て無言で一本抜き取った。「もっと取れよ」と促すと更に数本抜き取り一本くわえたのでマッチで火をつけてやると、大きく吸い込んで煙をはきだした男はいきなり立ち上がって壁際にたむろしている連中のところに行き、なにやら話していたが戻ってくると「あいつら承知させたからお前らここに座れ」と言う。そこで我々は無事純英国風ビターを存分に味わうことができた。

今もあの刺青男は牢名主のような存在で、それを真っ先に味方につけたのは我ながら上手い対応だったと時々思い出すが、当時のような気力、体力と現在のそれを考えると歳を取ったものだと一抹の寂しさも感じてくる。

会員の投稿を歓迎～情報紙の充実を目指して!!

観光情報紙2013年07月号への個人、団体会員の投稿を歓迎します(400～500文字程度)。皆様のご意見を、どしどしお寄せ下さい。詳細は事務局まで。発行は2013年07月25日、投稿締め切りは、07月15日です。

情報紙「JAPAN NOW」へご投稿を！

J N協会は、隔月刊で情報紙を発行しています。無代紙で、会員の皆さん、国土交通省幹部、観光庁、交通関係記者クラブ、いくつかの地方自治体などへ配布しています。

取材、執筆、記事割り付け（整理）、印刷、配布まで、すべて会員ボランティアの手作り紙です。

2か月に1回の発行とは言え、執筆陣が固定化してきており、したがって内容も変化に乏しく、面白さに欠けるくらいがあります。

そこで、会員の皆様をお願いしたいのは、周囲で起きている観光推進の動き、さまざまな行事、そしてちょっとした面白い話など、ぜひ情報紙に投稿していただき、バラエティに富んだ紙面にしたいと考えています。

団体会員の皆さん、企業紹介、新製品の開発や企業トピックでも結構です。大いに、情報紙「JAPAN NOW」を活用していただきたいとも、思います。（J N紙編集長・加納）

海外旅行消費は中国がトップへ

国連世界観光機関がまとめた2012年の海外旅行出費は、中国が1020億ドルと、前年一位のドイツを抜いてトップに立った。日本は281億ドルで8位。世界の観光関係者が、いまや中国頼みになっている中、今年4月の中国人日本入国者は円安にも関わらず、前年比30%以上減って10万2千人。トップの韓国からの入国者の半分以上。いぜん尖閣諸島の国有化問題が尾を引いている状況だ。

C O L U M N

小説着想の謎と思惑

長らく日経新聞朝刊に連載されていた浅田次郎氏の時代物「黒書院の六兵衛」が過日、最終回を迎えた。初っ端から衝撃的な書き出しだった。その想像もつかない着想は言うに及ばず、意外な展開となったストーリーは巧みに武士たちの作法や心理を描いて興味が尽きなかった。江戸城明け渡し前後に西の丸御殿でやりあった公家と武家の鞘当てと思惑、その火種を投じた主人公の超然としたパフォーマンスに、時代小説らしからぬエスプリを感じてしばしそのドラマにどっぷり浸かった。

得体の知れない「的矢六兵衛」なる一介の武士が、断りもなしに恐れ多くも西の丸御殿に上がりこみそのまま御殿に40日も居座り続けた「切腹」ものとも思える不敬罪に対して、幕閣らが気を遣い人情味という味つけでもてなす様をほのぼのと描いた時代劇の、けだし洒脱な傑作と呼べるものではないかと思っている。だが、それにしても読み終えてどうにも腑に落ちない。

考えてみるに国を揺るがせたあの激動の真っ只中に、封建制度の本家本元の、また政治の中心だった江戸城御殿内で、そのような前代未聞のドラマが事実として本当にあり得たのだろうか、と不思議な思いがしたのである。1年近い連載が終わったその日、どうにも合点が行かず「本当のところはどうだったのか。近いうちに作者の浅田次郎氏に会ったら尋ねてみよう」とブログに書き込んだ。

ところがまさにその翌日、思いがけずさる場所で浅田氏にばったり出会ったのである。意気込んで不躰にその点を浅田氏に尋ねてみた。「いや～、あれはウソ！ウソですよ！だって小説ですもの」と浅田氏の答えはにべもなくあっけらかんとしたものだった。それはそうだろうか何か・・・？

連載を終えた浅田氏は10日ほどして、日経文化欄にこう書いた。「的矢六兵衛はいづくより来たりて、いづくへと去るのか。彼はいったい何者であったのか。この不明の結末を、酒の肴や茶飲み話や、ネットの話題に載せていただければ幸いである。かくいう私も、このさきずっと考え続ける」。

さあ～て皆さん、六兵衛は何者でいづくより来たりていづくへ消え去ったのだろうか？（近藤節夫）